

あすか会

長期の安定した予後をめざして～健康で幸せな生涯に願いを込める～

白重豊英

福岡県開業・あすか会世話役

スタディグループ連絡先：せき歯科クリニック 〒861-2101 熊本県熊本市東区桜木3-22-19



スタディグループ DATA

設立年月日：2007年12月
添島歯科クリニック研修室

代表者名：関 喜英 グループ人数：23名
例会形式：症例発表， 症例相談， 論文抄読

例会開催頻度：毎月 例会場所：

スタディグループの紹介

本会は、熊本市で開業のSJCD インターナショナル常任理事である添島正和先生主催の「3S(Simple・Speedy・Safety)コンセプトに基づく必要最低限で十分な咬合診断と治療」のセミナー受講生でつくられたスタディグループである。添島先生を顧問として毎月1回の例会(症例発表，症例相談，論文抄読等)を行っている。1期生(2007年受講)が声を掛け合い，セミナー終了後も治療に関して添島先生のアドバイスを受け，互いに診療のレベルを高めようとの思いで設立された。若手中心のスタディグループで，30代前半から40代前半の先生が多く，非常に活気のある伸び盛りのグループである。

活動内容

症例発表，症例相談では，添島先生の数多くの長期症例をもとに，さまざまな角度から検証，ディスカッションがなされ，非常に有意義な会となっている。基礎資料の収集から診断に関しては，かなり厳しく指導されており，添島先生の30数年前からのきちんとした詳細な資料には本当に頭の下がる思いがし，正しい診断をするためには的確な基礎資料の収集が欠かせないことを会員全員痛感している。

また，東京 SJCD 会長の日高豊彦先生にも顧問になっていただいております。年に1回，2日間にわたりクローズドで会員の症

例発表を行い，ご指導をいただいている。基本的な質問に対しても時には最新のエビデンスを交えながら随時ていねいにお答えくださり，全会員が自分の未熟さを痛感し，「次年度はもっと成長するぞ」とモチベーションがアップして充実した2日間が終わる。

さらに，不定期で外部講師を招聘し，ご講演をいただくこともある(写真は，福岡県開業の甲斐康晴先生にご講演いただいた際に撮影したもの)。そして，隔年で歯科衛生士対象のセミナーも行い，スタッフのレベルアップを図っている。外部の歯科衛生士を講師として招いての講演とスタッフによる症例発表を行い，医院の総合力の向上にも力を注いでいる。

今後の展望

最後に，あすか会会長の関喜英(熊本県開業)より今後の展望について一言。「あすか会では，まずは正確な基礎資料の収集と的確な診査・診断ができ，他の誰に見られても恥ずかしくないような基礎のしっかりとした治療ができる歯科医師になることを目指しています。毎月の例会や年数回の外部の先生を招いての研修会を重ねるたびに，徐々に会員の診断力や治療技術，症例発表のレベルも向上してきているのを感じております。数年後にはオープンな講演会の開催が可能なレベルに達しようと，各々が自覚をもって研鑽に励んでいるところです」

若手のホープ



松原明日香先生
(熊本県熊本市開業)

あすか会の名前の由来はこの紅一点の明日香先生からいただいて名付けられた。会のなかでも一番忠実に添島先生の教えを守って日々診療している。症例発表でも資料採りを正確かつ十分に行い，エビデンスに基づいたしっかりとした治療をしているのが感じられる。日本顎咬合学会のポスター発表で賞を取ったのもそれを裏付けている。これからますますいろいろなことに挑戦し，成長していくのが楽しみな先生である。